

閉校舎で 環境制御型農業漁業をしては

町が主体となるのは難しい



横田 龍寿 議員
(政 和 会)



地域コミュニティ活性化への活用が期待される旧校舎

問 閉校した校舎等の利活用について現時点での案はあるか。小規模の環境制御型農業施設、増養殖施設、アクアポニクス施設等を設置し、地域コミュニティを巻き込んで運営すれば、食育、地域のコミュニティの活性化等、一石数鳥になると考えるがどうか。

佐藤町長 閉校となった校舎等の利活用計画については、維持経費削減や施設の老朽化等の観点から、民間等への譲渡または解体、既存の老朽化した公共施設の機能移転や地域自治会等での活用、災害時の避難所としての利用などを基本方針として定めたところである。一方、全国的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症に対応できる風水害時の避難所の安全性を確保するため、閉校施設を含む施設の利用が必要となることから、最終的な決定には時間を要するものと考えている。次に、閉校舎等を活用した環境制御型農業な

どの施設整備については、費用面、販路、実施事業者の選定など大きなリスクを伴う事業であることから、町が主体となつて実施できる事業ではないと考える。

問 町が主体となつてできる事業ではないということだが、〇〇小学校校舎、〇〇小学校の体育館をこういった事業で使いたいという事業者があった場合にはどのように対応するのか。

川守田復興企画課長 事業者の方が使いたいというのであれば願ってもない事だと考える。しかし現在新型コロナウイルスの關係で避難所運営の際ソーシャルディスタンスの確保、発熱者の避難など体育館を含め校舎の活用も考えなければならぬ。その辺の状況を見極めながら判断する必要があると考える。



アクアポニクスとは？

従来の水耕栽培と養殖とをかけあわせた環境保全型農業で、魚のふんを微生物が分解し植物が吸収・浄化された水が再び魚の水槽へと戻るシステム。水産養殖を意味する「アクアカルチャー」と水耕栽培を意味する「ハイドロポニクス」からなる造語。

その他の質問

- ◆ プレミアム付商品券の追加発行について
- ◆ ホタテ貝毒に係る経済支援について
- ◆ 役場本庁舎の建て替え計画について
- ◆ 幼稚園・保育園の再編について